

社会福祉法人 高田真善会

特別養護老人ホーム 報徳園

## 平成30年度 業務実態報告書

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 入所人員状況             | 8 在宅介護支援センター事業 |
| 2 処遇・介護の状況           | 9 居宅介護支援事業     |
| 3 面会及び外出・外泊状況        | 10 職員研修の状況     |
| 4 罹病及び通院・入院状況        | 11 地域との交流事業    |
| 5 ヒヤリハット、事故発生報告、苦情状況 | 12 給食関係状況      |
| 6 ショートステイ事業          | 13 法人運営の状況     |
| 7 デイサービス事業           | 附 平成30年度決算状況   |

平成31年 4月作成

# 法人基本理念



せ む い  
施 無 畏

おそ な ほどこ  
「畏れ無きを施す」

三布施の一。無畏施ともいう。  
人々を不安から救い 安らぎの  
境地を恵むこと  
不安からの開放の意。

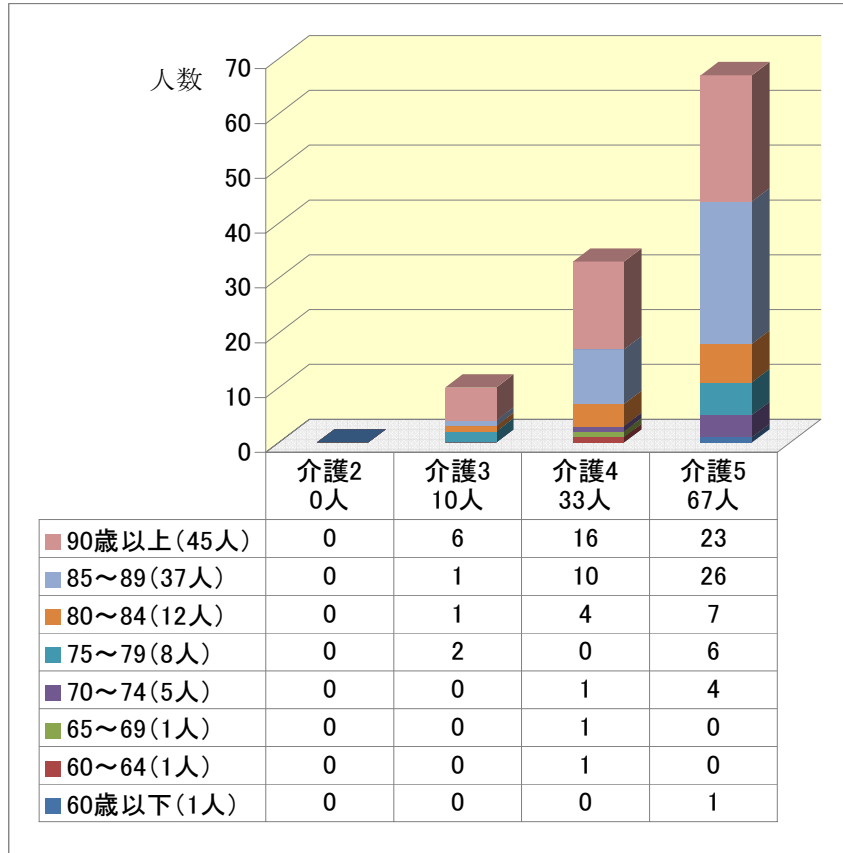
報徳園玄関前碑 当法人理事長による揮毫

## 高田真善会 報徳園 の 沿革

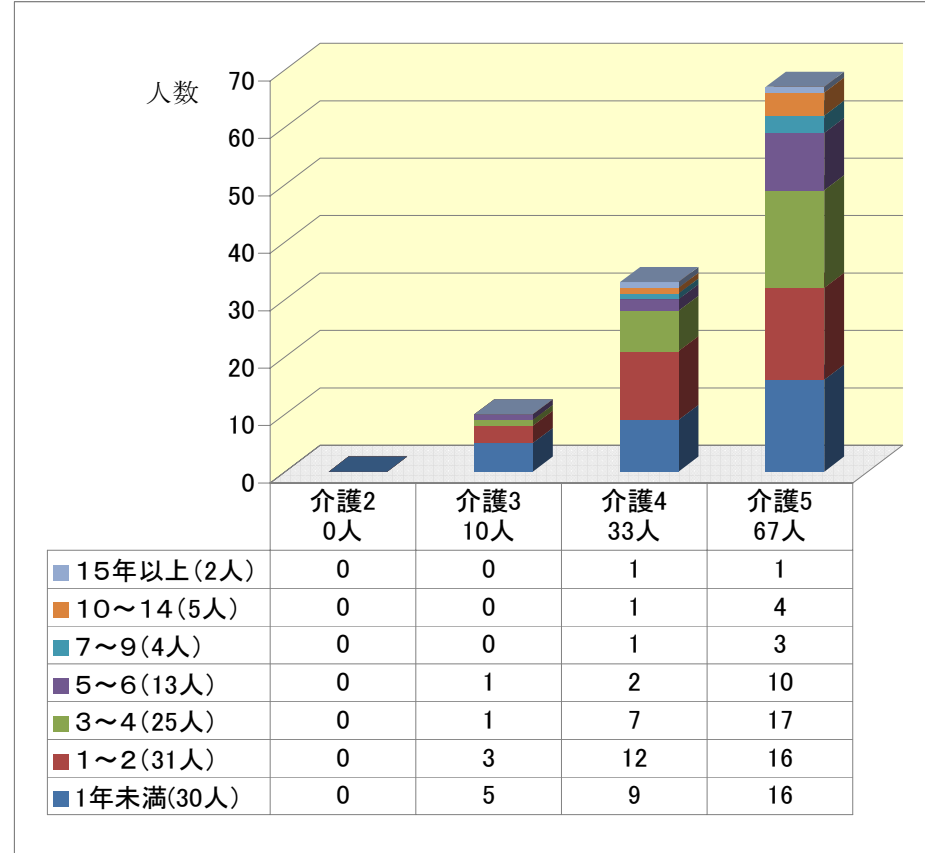
1980 (昭和55) 年10月29日	社会福祉法人高田真善会認可(三重県)
1980 (昭和55) 年11月20日	社会福祉法人高田真善会成立(法人登記)
1981 (昭和56) 年 4 月	国県補助金を得て特別養護老人ホーム報徳園(定員50名)開設
1985 (昭和60) 年 4 月	初代園長急逝により 2 代目園長就任
1988 (昭和63) 年10月	高齢者ケアサービス調査事業(三重県委託)開始 (1991年 3 月まで)
1990 (平成 2) 年 5 月	国県補助金を得て定員80名及びショートステイ20名に増床
1991 (平成 3) 年 4 月	痴呆性老人ケア調査研究事業(三重県委託)開始 (1992年 3 月まで)
1992 (平成 4) 年 4 月	デイサービス(E型)事業開始
1992 (平成 4) 年 4 月	宮内庁より御下賜金拝領
1992 (平成 4) 年 6 月	初代理事長急逝により 2 代目理事長就任
1993 (平成 5) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得てサンルーム兼入浴待合室増築
1993 (平成 5) 年 4 月	国県補助金を得て定員110名に増床
1993 (平成 5) 年 5 月	在宅介護支援センター開設及びホームヘルプ事業開始
1995 (平成 7) 年11月	ナイトケア事業開始 (2000年3月まで)
1997 (平成 9) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得てデイルーム兼食堂(みどりの広場)等、増築拡張
1997 (平成 9) 年10月	在宅福祉事業の推進功績により、厚生大臣表彰を受く
1999 (平成11) 年 8 月	居宅介護支援事業開始
2000 (平成12) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得て特別静養棟(感染症対応)増築
2004 (平成16) 年度	大規模地震対策として全館ガラス飛散防止・家具等転倒防止及び災害用備蓄庫設置等実施 (約1,500万円)
2005 (平成17) 年度	みえ福祉第三者評価の受審(評価機関:株式会社百五経済研究所) 全館スプリンクラー消火設備を自主設置(平屋建6,000㎡未満の為、設置義務ないが利用者の 重度化に対応した安心安全対策として)(約3,600万円)
2013 (平成25) 年 3 月末	ホームヘルプ事業の廃止 (2012年 9 月より事業休止)
2016 (平成28) 年度	みえ福祉第三者評価2回目の受審(評価機関:株式会社百五総合研究所)
2019 (平成31) 年 4 月	3代目園長就任(交代)

# 1. 入所人員状況

介護度別年齢構成・・・平成31年3月末現在



在園期間別介護度状況・・・平成31年3月末現在



※最高年齢103歳 性別 女性 最少年齢56歳 性別 男性  
 ※最高最少年齢者を除いた平均年齢 87.4歳(男性 85.5歳、女性 87.8歳)  
 ※最長在園期間 37年10ヵ月 性別女性 最短在園期間 1ヵ月未満 1名  
 ※最長最短在園者を除いた一人当たり平均在園期間 3.16年  
 ※入所定員110名に対する年間平均稼働率 98.2 %

〔介護度構成の年度推移〕年度末時点

介護度	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数(男)	人数(女)	人数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	1	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0
3	6	5.4	4	3.6	4	3.6	8	7.3	4	6	10	9
4	40	36.4	43	39.1	44	40	38	34.5	3	30	33	30
5	64	58.2	62	56.4	62	56.4	64	58.1	13	54	67	60.9
4+5	104/110	94.5	105/110	95.4	106/110	96	102/110	92	100/110		90.9	

〔新規入所者の介護度構成の推移〕

介護度	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数(男)	人数(女)	人数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	4	12.9	0	0	1	3.8	4	14.3	2	4	6	18.2
4	12	38.7	12	54.5	17	65.4	12	42.9	5	8	13	39.4
5	15	48.4	10	45.5	8	30.8	12	42.9	6	8	14	42.4
4+5	27/31	87.1	22/22	100	25/26	96	24/28	85.7	27/33		81.8	

〔入所申込者数及び介護度〕

介護度	30年度												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	7
3	3	3	7	6	4	4	3	3	3	4	3	1	44	
4	4	5	6	2	3	6	6	4	2	6	3	3	50	
5	3	2	1	7	2	1	2	2	3	2	5	3	33	
認定申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	12	11	14	16	9	11	11	9	8	13	11	11	136	

申込者総数 303名 (H31.3.31時点)

[ 退 所 者 内 訳 ]

	性別	年齢	区 分	在園期間	理由	死亡場所
1	女	70	死亡	4ヵ月	心不全	病院
2	女	85	死亡	25年	老衰	報徳園
3	女	57	長期療養	1ヵ月	肺炎	/
4	女	92	死亡	4年9ヵ月	細菌性肺炎	病院
5	女	78	長期療養	3年4ヵ月	小脳梗塞	/
6	女	85	死亡	23日	急性心不全	報徳園
7	女	83	死亡	1ヵ月	呼吸不全	報徳園
8	女	93	長期療養	5ヵ月	誤嚥性肺炎	/
9	女	87	死亡	4年2ヵ月	老衰	報徳園
10	女	105	死亡	4年9ヵ月	老衰、消化管出血	報徳園
11	女	85	死亡	3年9ヵ月	老衰	報徳園
12	女	84	死亡	9年9ヵ月	老衰	報徳園
13	女	87	長期療養	8年11ヵ月	右脳梗塞	/
14	女	89	死亡	7ヵ月	老衰	報徳園
15	女	94	死亡	15年3ヵ月	尿路感染症	病院
16	女	68	死亡	7年9ヵ月	右肺大動脈破裂	病院
17	女	90	死亡	1年10ヵ月	心不全	病院
18	女	94	長期療養	5年	誤嚥性肺炎	/
19	女	99	死亡	7ヵ月	老衰	報徳園
20	女	92	死亡	4年2ヵ月	老衰	報徳園
21	女	84	死亡	1年5ヵ月	上行結腸癌	報徳園

	性別	年齢	区 分	在園期間	理由	死亡場所
22	女	96	死亡	13年	老衰	報徳園
23	女	87	死亡	4年1ヵ月	呼吸不全	報徳園
24	女	92	死亡	1年11ヵ月	老衰	報徳園
25	女	93	死亡	1ヵ月	誤嚥性肺炎	病院
26	女	91	死亡	3年10ヵ月	老衰	病院
27	女	87	長期療養	1ヵ月	肺炎、呼吸不全	/
28	女	100	死亡	4年7ヵ月	老衰	報徳園
29	女	92	死亡	3年6ヵ月	老衰	報徳園
30	女	81	長期療養	9ヵ月	肺炎	/
31	女	65	長期療養	1年4ヵ月	右脳出血	/
32	女	91	長期療養	6年5ヵ月	誤嚥性肺炎、尿路感染症	/
33	女	94	死亡	10年9ヵ月	老衰	報徳園
合 計					33名	
死亡退所24名（報徳園17名、内ターミナルケア8名、病院7名）、長期療養9名						

[ 死 亡 退 所 者 在 園 期 間 ]

1年未満	6名	25.0%
1年～2年未満	3名	12.5%
2年～3年未満	0名	0.0%
3年～4年未満	3名	12.5%
4年～5年未満	6名	25.0%
5年～10年未満	2名	8.3%
10年以上	4名	16.7%
計	24名	100.0%



## 2. 処遇、介護の状況

〔日課等〕

食 事	午前8:00～8:50      午前11:30～12:15      午後5:00～5:30
排泄介助等	午前5:00～、午前8:00～、午前11:00～、午後2:00～、午後4:00～、午後6:00～、午後9:00～、午前0:00～、その他随時介助、交換
朝の集い	午前10:00～11:00
入 浴	一般浴・特浴とも週2回、各ゾーンにて実施
回 診	火・金の午後実施(精神科医回診、毎月2回)

開設以来の基本方針である5つの目標 ①生活に密着したリハビリテーションの徹底、②社会的、精神的リハビリテーションとしてのグループワーク等の充実及び専門性を生かした個別処遇の重視、③宗教的安慰の確立、④豊かな食生活と保健衛生の保障と充実、⑤家族等との望ましい関係の維持発展のもとに、4つの処遇ゾーン【軽介護・中介護・重介護・認知症介護】がそれぞれのグループの特性に合わせ、設立当初の基本理念に立ち返り、季節・伝統行事を大切にしてきた。認知症ケア・看取りケア等に対し、常に新たなケアを模索し取り組んでいる。また、吸引等の医療行為の必要性が増し、介護と看護の一体的ケアの強化が求められてきた。

サービスの提供にあたっては「利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむ得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行ってはならない」ことを受けて、拘束しない介護、利用者の人権を尊重する介護をおこなってきた。更に利用者・職員共に過ごしやすい安心・安全な生活空間づくりをおこなっている。又、第三者評価を受審し、施設の更なる向上を求めている。

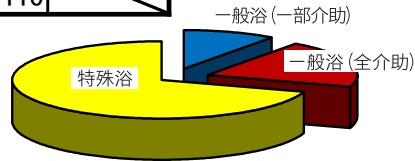
利用者の個人情報に関しては、適正かつ適切な取り扱いに努力するとともに、広く社会からの信頼を得るため自主的なルール及び体制を確立し、個人情報の保護に努めている。

また、介護福祉士養成校の実習をはじめとし、雇用に向けての職場体験から教員資格取得のための福祉体験、中学生・高校生のインターシップ等介護現場の協力の元積極的に受け入れ、後継者の育成にも力を入れてきた。地域の方々には介護教室を開催し、高齢者に対する理解や介護予防の知識の普及に努めてきた。施設が地域の方々にとってなじみの場所となるように施設開放の取り組みを行っている。

その他の状況については、諸表の通りである。

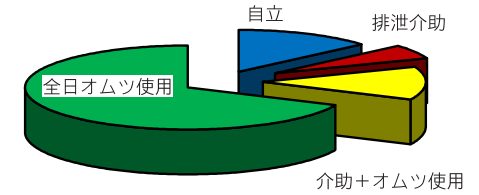
入浴形態	人数	%
一般浴(一部介助)	11	10.0%
一般浴(全介助)	22	20.0%
特殊浴	77	70.0%
合計	110	

- 一般浴(一部介助)
- 一般浴(全介助)
- 特殊浴



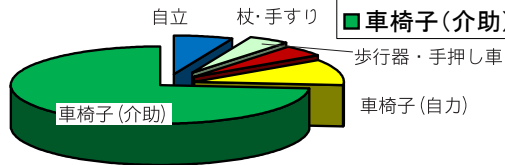
排泄の状況	人数	%
自立	15	13.6%
排泄介助	6	5.5%
介助+オムツ使用	14	12.7%
全日オムツ使用	75	68.2%
合計	110	

- 自立
- 排泄介助
- 介助+オムツ使用
- 全日オムツ使用



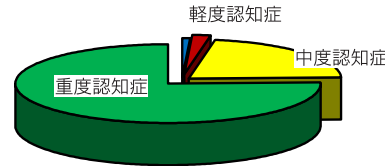
移動介助の状況	人数	%
自立	7	6.4%
杖・手すり	5	4.5%
歩行器・手押し車	5	4.5%
車椅子(自力)	12	10.9%
車椅子(介助)	81	73.6%
合計	110	

- 自立
- 杖・手すり
- 歩行器・手押し車
- 車椅子(自力)
- 車椅子(介助)



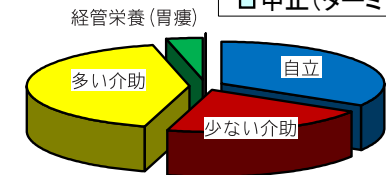
精神状態	人数	%
健常	1	0.9%
軽度認知症	2	1.8%
中度認知症	24	21.8%
重度認知症	83	75.5%
合計	110	

- 健常
- 軽度認知症
- 中度認知症
- 重度認知症



食事介助の状況	人数	%
自立	37	33.6%
少ない介助	23	20.9%
多い介助	46	41.8%
経管栄養(胃瘻)	4	3.7%
中止(ターミナル)	0	0.0%
合計	110	

- 自立
- 少ない介助
- 多い介助
- 経管栄養(胃瘻)
- 中止(ターミナル)



平成31年3月末現在



〔身体拘束等の状況〕（デイ、ショート含む）

平成30年度

	人数	件数	重複	ミトン	つながり服	車椅子ベルト	4点柵	取り組み
4月	11名	13件	2名 4件	1件	3件	7件	2件	
5月	11名	13件	2名 4件	1	3	7	2	
6月	11名	13件	2名 4件	1	3	7	2	
7月	13名	15件	0名 0件	2	2	9	2	つながり服・・・下剤の調整。 4点柵・・・低床ベッドと床にマット使用。
8月	8名	8件	0名 0件	1	0	7	0	
9月	8名	8件	0名 0件	1	0	7	0	
10月	8名	8件	0名 0件	1	0	7	0	
11月	8名	8件	0名 0件	1	0	7	0	車椅子ベルト・・・ソファー等の使用。リクライニング車椅子使用。
12月	6名	6件	0名 0件	1	0	5	0	
1月	5名	5件	0名 0件	1	0	4	0	ミトン・・・胃瘻造設部分をボタン式に変更。
2月	4名	4件	0名 0件	0	0	4	0	
3月	2名	2件	0名 0件	0	0	2	0	

〔褥瘡の状況〕

平成30年度

【shea分類】 褥瘡の治療、予防ガイドラインで用いられる深達度による分類

	I度 (発赤)	II度 (真皮までにとどまる びらん、 浅い潰瘍)	III度 (皮下脂肪にまで 及ぶ褥瘡)	IV度 (筋肉、 腱、骨に まで及ぶ 褥瘡)	合計
4月	0件	10件	0件	0件	10件
5月	0	4	0	0	4
6月	0	8	0	0	8
7月	0	5	0	0	5
8月	0	10	0	0	10
9月	0	4	0	0	4
10月	0	10	0	0	10
11月	1	9	1	0	11
12月	0	7	1	0	8
1月	0	7	1	0	8
2月	1	6	1	0	8
3月	0	6	1	0	7

	人数	悪化	変化なし	治癒傾向	完治	その他	症例数
4月	17名	0件	5件	5件	10件	2件	22件
5月	12	0	4	0	11	0	15
6月	13	0	7	1	5	1	14
7月	10	1	2	2	8	0	13
8月	10	0	1	9	3	0	13
9月	14	0	3	1	13	1	18
10月	11	0	7	3	3	0	13
11月	13	2	5	4	6	0	17
12月	12	1	5	2	4	4	16
1月	14	0	3	5	5	1	14
2月	9	0	5	3	2	1	11
3月	12	0	2	5	8	0	15

※shea分類表の合計 = 右表の《悪化、変化なし、治癒傾向》の合計

※〈褥瘡〉新たな発症…16名、繰り返し発症…15名(内、永眠5名)、入所前よりの発症…7名

〔研修・実習等の受入〕 デイサービス含む

職場体験 ・ インターンシップ					
三重県立みえ夢学園高等学校現場体験学習	7名	3日間	三重県社会福祉協議会人材センター介護等体験	2名	2日間
三重県立津商業高等学校インターンシップ	2名	3日間	小学校及び中学校の教諭 普通免許状授与に係る介護体験	30名	5日間
津市立橋北中学校職場体験学習	4名	3日間			
三重県立稲葉特別支援学校高等部	1名	15日間			

介護実習 ・ 生活援助実習					
ユマニテク医療福祉大学校介護福祉学科	3名	25日間	三重県立みえ夢学園高等学校	2名	8日間
〃	3名	15日間	四日市福祉専門学校	2名	11日間
〃	1名	11日間	介護労働安定センター三重支所	2名	5日間
高田短期大学キャリア育成学科 介護福祉コース	1名	10日間	鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校	2名	16日間
	4名	20日間	三重中央医療センター付属 三重中央看護学校老年看護学	4名	11日間
	2名	20日間			

合 計	年間のべ
	583名 1.6名/日

〔主たる行事実施状況〕（デイ、ショート含む）

月	実施行事	ボランティア等	訪問・その他
H30 4	●春祭り ●濯仏会(花祭り) ●法話(高藤英光師) ●菓子販売 ●ホットケーキ作り(デイ) ●老人互助会初会合 ●誕生会(誕生者9名)	傾聴ボランティア (1日:3名) 介護業務補助 (2日:のべ2名) 理髪GLANTZ (1日:3名)	●千久会(歌、踊り) 5名 ●園庭貸し出し(つくしんぼ花見) 25名
5	●菖蒲湯 ●端午の節句(よもぎ餅つき) ●避難訓練 ●菓子販売 ●誕生会(誕生者5名) ●胸部レントゲン撮影 ●法話(山中真諭師) ●降誕会	傾聴ボランティア (1日:名) 理髪GLANTZ (1日:4名) 餅つき (1日:2名)	●どんぐり一座(歌、踊り) 5名
6	●避難訓練 ●祖師寿表彰(10名) ●誕生会(誕生者6名) ●法話(田中明誠師) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:2名) 理髪GLANTZ (1日:4名)	●県立盲学校マッサージ 6名 ●三重看護大学留学生見学 7名 ●美津佳会(日本舞踊) 14名 ●いちごうたう会(歌、紙芝居) 9名
7	●七夕会 ●祇園会 ●法話(隆妙灑師) ●誕生会(誕生者16名) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:3名) 介護業務補助 (2日:のべ2名)	●わらび会(歌、踊り) 13名 ●ムーミン一座(マジック) 9名 ●アコーディオン演奏 1名
8	●初盆法要 ●盆踊り大会 ●誕生会(誕生者4名) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:3名) 介護業務補助 (1日:1名) 理髪GLANTZ (1日:3名) 高田短大生(盆踊り) (1日:13名) 大学生ボランティア (1日:1名)	●高田短大バスツアー見学 12名
9	●避難訓練 ●夜間避難訓練 ●菓子販売 ●彼岸法要 ●敬老の祝典 ●法話(千草篤昭師) ●観月会 ●百歳祝い ●誕生会(誕生者19名)	傾聴ボランティア (1日:2名) 介護業務補助 (1日:1名) 理髪GLANTZ (1日:4名)	●いちごうたう会(歌、紙芝居) 11名 ●西が丘小二年生 125名 地域探検、利用者とふれあい

※ミニギャラリー・・・展示スペースの地域開放、写るん会の協力により偶数月展示

月	実施行事	ボランティア等	訪問・その他
10	●誕生会(誕生者12名) ●避難訓練 ●法話(山中真諭師) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:3名)	●津西幼稚園よさこい 78名 ●夢の会から車椅子寄贈 1名
11	●炊き出し訓練 ●避難訓練 ●おでかけ(西が丘小おもちゃまつり参加) ●法話(村上英俊師) ●誕生会(誕生者7名) ●インフルエンザ予防接種	傾聴ボランティア (1日:2名) 介護業務補助 (1日:1名)	●津西高校人権学習 15名 ●唐人踊り 13名 ●県立盲学校マッサージ 6名 ●千久会(歌、踊り) 6名
12	●冬至(柚子湯) ●餅つき ●報恩講 ●誕生会兼忘年会(誕生者14名) ●百歳祝い ●法話(藤山 眞哉師) ●菓子販売	理髪GLANTZ (1日:4名) 傾聴ボランティア (1日:3名)	●いちごうたう会(歌、紙芝居) 7名 ●オカモトヤ衣類販売 3名 ●津西高校琴演奏 15名 ●AIRオートクラブ三重支部(車椅子清掃、整備) 70名
H31 1	●年賀式 ●書初め ●誕生会兼新年会(誕生者16名) ●おでかけ(初詣、お七夜参詣) ●菓子販売 ●法話(隆妙瀧師師)	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:4名)	
2	●節分会 ●菓子販売 ●避難訓練 ●誕生会(誕生者19名) ●法話(高藤英光師)	傾聴ボランティア (1日:2名) 理髪GLANTZ (1日:4名)	●メルヘンマジック 2名
3	●彼岸法要 ●菓子販売 ●法話(田中明誠師) ●雛祭り ●誕生会(誕生者18名) ●おでかけ(梅見)	傾聴ボランティア (2日:のべ4名) 理髪GLANTZ (1日:3名)	●いちごうたう会(歌、紙芝居) 9名
ボランティア・訪問等 合計558名			1.52名/日

### 3. 面会及び外出・外泊状況

(面会者集計)

月	面会者数						総計	一人あたり 平均
	配偶者	子供	孫	兄弟	親族	その他		
H30 4	63	269	27	17	54	4	434	3.95
5	89	272	40	4	55	11	471	4.28
6	110	304	28	6	39	5	492	4.47
7	140	336	36	16	60	10	598	5.44
8	151	317	80	16	77	15	656	5.96
9	149	313	42	12	40	9	565	5.14
10	155	349	27	8	81	5	625	5.68
11	153	357	25	13	68	6	622	5.65
12	215	278	32	13	53	8	599	5.45
H31 1	148	326	74	9	69	15	641	5.83
2	114	249	16	9	28	14	430	3.91
3	160	271	40	15	57	4	547	4.97
合計	1,647	3,641	467	138	681	106	6,680	5人



(面会回数・年間)

回数		回数	人数
0	5	121~130	0
1~10	25	131~140	1
11~20	12	141~150	1
21~30	8	151~200	0
31~40	4	201~350	3
41~50	7		
51~60	6		
61~70	1		
71~80	1		
81~90	0		
91~100	2		
101~110	1		
111~120	0		

(外出・外泊者数)

月	外出者数	外泊	
		人数	期間
H30 4	15	0	0
5	17	1	4
6	7	1	3
7	9	1	4
8	9	3	8
9	11	1	6
10	10	1	4
11	9	1	4
12	7	2	4
H31 1	9	2	5
2	5	1	5
3	6	1	6
合計	114	15	53

※年度途中入退所者除く

#### 4. 罹病及び通院・入院状況

罹病状況 (重複カウント)			
病名	人数	病名	人数
便秘症	67	尿路感染症	5
高血圧症	60	神経因性膀胱炎	5
認知症	47	胆石症	5
アルツハイマー	34	変形性膝関節症	4
脳梗塞後遺症	23	水頭症	4
糖尿病	20	てんかん	4
骨粗鬆症	17	緑内障	4
白内障	14	脳出血	3
高脂血症	11	統合失調症	3
悪性腫瘍	11	リウマチ	3
狭心症	9	甲状腺機能低下	3
心不全	8	うつ病	2
パーキンソン症候群	7	前立腺肥大	1
貧血	7	腹部大動脈瘤	1
乾皮症	7		

月	通院・往診(歯科・精神科)・入院者数					のべ 入院日数	看護職員夜間 緊急呼び出し	
	通院 (回)	往診 (人)	入院 (人)	退院 (人)	救急車搬送 (件)			
H30 4	29	26	19	3	4	2	118	4
5	27	17	18	2	3	2	47	1
6	39	32	17	0	2	0	3	0
7	30	18	19	0	0	0	0	1
8	25	19	15	4	2	2	63	1
9	23	19	17	2	2	1	54	2
10	22	16	20	4	4	0	78	1
11	26	19	21	4	4	2	145	2
12	25	20	20	4	3	0	65	2
H31 1	22	16	21	4	4	0	76	2
2	21	13	25	3	5	1	61	0
3	17	13	23	2	1	1	18	2
合計	306	228	235	32	34	11	728	18

※介護職員による喀痰吸引等業務従事者登録 24名

## 5. ヒヤリハット、事故発生報告状況（デイ・ショート及び業務全般を含む）

### 〔ヒヤリハット報告〕

項目	件数	項目	件数
自ら動いて 床にいる	ペットから 30	DS忘れ物、 送迎関連	27
	車椅子から 29	歩行者転倒 転落	53 3
	車椅子、 ペットから 落ちそうになる 2	異食	9
		その他	115
薬関連	51	合計	319

### 〔苦情・要望〕

内容	件数
衣類・物品等の入れ替わり	20
利用者送迎に関すること	3
連絡方法について	3
介護に関すること	3
その他(伝達不足)	3
合計	32

※大部分がデイ、ショート関連

### 〔事故発生報告件数〕 県への報告(骨折等)…8件 H30.4.1～H31.3.31

	重度	中度		軽度	計	
	障害、死亡	医療機関		処置(施設内)		処置なし、様子観察
		入院	通院			
介助中	0	誤嚥(1)	0	職員介助中(13) 誤嚥(8) 薬、レベル3(5) 薬、レベル4(1)	薬、レベル1(8) 薬、レベル2(10)	46
介助中でない	0	骨折(3)	骨折(5) 表皮剥離(2) 骨折疑い(1) 脱臼(1) 転倒(1) 異食(1) 自ら動いて床にいる(1)	表皮剥離(40) 転倒(15) 内出血(13) 自ら動いて床にいる(11)	厨房(82) デイ・ショート忘れ物(24) 異食(12) 破損・紛失(11) 送迎(5) その他(21)	249
不明	0	0	0	実績・請求ミス(2)	0	2
合計	0	4	12	108	173	297

※薬レベルについて

レベル1 落下(口に入った形跡あり)

レベル2 服用忘れ、落下(口に入った形跡なし)

レベル3 重複、朝・昼・夕の間違い

レベル4 人違いの誤薬

## 6. ショートステイ利用状況

〔月別・介護度別利用状況（人数）〕

	介護度					のべ人数	特養空床利用者	15床に対する稼働率	緊急受入件数 (加算対象)	送迎件数
	1	2	3	4	5					
H30 4	1	11	9	10	4	422	15	93.8%	2	117
5	1	8	12	8	8	400	3	86.0%	0	130
6	0	10	7	9	11	453	24	100.7%	2	142
7	1	8	6	7	11	502	43	107.9%	0	137
8	2	8	8	9	10	504	44	108.4%	1	144
9	3	6	10	10	9	467	31	103.8%	2	145
10	2	8	12	12	9	498	45	107.1%	1	166
11	2	7	8	18	7	438	17	97.3%	1	157
12	2	10	5	16	7	503	43	108.2%	1	147
H31 1	2	7	5	13	9	493	42	106.0%	0	145
2	2	7	7	14	9	453	46	107.8%	2	140
3	0	7	6	14	9	479	27	103.0%	0	144
<b>計</b>	18	97	95	140	103	5612	380	102.5%	12	1,714

## 7. デイサービス事業状況

### 認知症対応型

[ 月別・介護度別利用状況 (人数) ]

	介護度					定員	
	1	2	3	4	5	月～金曜日	稼働率
						24名/1日	
						土日曜日	12名/1日
						のべ人数	稼働率
H30 4	2	8	9	8	4	298	48.7%
5	3	7	9	9	4	338	52.2%
6	4	7	9	9	5	385	63.0%
7	4	6	10	10	7	422	66.4%
8	4	7	10	10	6	415	64.0%
9	4	8	11	8	4	348	70.0%
10	5	9	10	8	4	416	64.2%
11	5	7	10	10	4	400	64.1%
12	6	7	10	9	6	372	60.0%
H31 1	6	7	8	9	6	384	59.2%
2	5	5	9	9	6	342	59.4%
3	5	5	7	10	4	342	54.8%
<b>計</b>	53	83	112	109	60	4,462	60.3%

※デイサービス運営推進会議開催日 9月28日、3月25日

※デイだより発行 (毎月)

## 8. 在宅介護支援センター事業状況

〔相談業務件数集計〕

	来園相談	訪問相談	電話相談	その他	合計
H30 4	10	117	77	0	204
5	19	98	65	1	183
6	20	110	23	3	156
7	11	154	88	3	256
8	13	98	80	1	192
9	16	117	79	1	213
10	8	120	53	2	183
11	9	126	65	2	202
12	15	113	42	1	171
H31 1	12	112	57	0	181
2	37	140	69	0	246
3	8	128	60	0	196
合計	178	1433	758	14	2383

	相談内容					
	総合	介護	在宅	機器	施設	その他
H30 4	130	35	7	9	18	5
5	110	23	14	12	22	2
6	117	21	4	3	3	8
7	152	57	19	15	11	2
8	111	50	10	13	8	0
9	163	16	13	9	9	3
10	121	21	7	13	5	16
11	143	24	11	12	10	2
12	122	23	6	8	11	1
H31 1	117	29	8	12	13	2
2	160	59	6	10	8	3
3	133	30	10	7	14	2
合計	1579	388	115	123	132	46

〔地域支援事業〕

〔地域ケア会議出席〕

	実態把握
H30 4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
H31 1	0
2	0
3	0
合計	0件

	地域ケア会議参加
H30 4	0
5	0
6	1
7	2
8	1
9	0
10	1
11	0
12	0
H31 1	1
2	0
3	1
合計	7件

〔介護予防教室〕

10月11日 地域交流会 認知症予防教室開催 21名参加  
 11月8日 地域交流会 認知症予防教室開催 23名参加



## 9. 居宅介護支援事業

ケアプラン作成〔月別・介護度別利用状況〕

	介護度					合計
	1	2	3	4	5	
H30 4	23	29	15	12	4	83
5	24	27	17	11	7	86
6	24	26	16	13	11	90
7	24	26	14	14	11	89
8	24	27	15	13	10	89
9	26	26	16	13	9	90
10	27	28	17	12	8	92
11	27	29	16	14	7	93
12	26	30	15	15	8	94
H31 1	25	28	16	13	9	91
2	25	26	14	14	8	87
3	24	26	12	15	7	84
<b>計</b>	<b>299</b>	<b>328</b>	<b>183</b>	<b>159</b>	<b>99</b>	<b>1068</b>

介護予防プラン作成

	介護度		内訳		合計
	要支援1	要支援2	介護予防支援	介護予防ケアマネジメントA	
H30 4	8	11	9	10	19
5	8	11	8	11	19
6	7	11	7	11	18
7	7	11	7	11	18
8	6	12	7	11	18
9	7	14	7	14	21
10	7	13	7	13	20
11	6	12	7	11	18
12	6	13	7	12	19
H31 1	6	14	8	12	20
2	6	16	10	12	22
3	6	16	10	12	22
<b>計</b>	<b>80</b>	<b>154</b>	<b>94</b>	<b>140</b>	<b>234</b>

## 10. 職員研修等の状況

### [ 園内研修 ]

月	テーマ・講師・担当	対象職員	内容
H30 4	介護現場におけるリスクマネジメント 研修報告…介護士	全職種対象	介護現場ではいつ、どこでも危険があることを認識しておくことが重要。事故の実態を把握して情報を共有すること、現実的な解決策を考えること。
	人を活かして育てる～より良い職場にするために 研修報告…介護副主任	〃	相手の価値観を尊重し、コミュニケーションを図っていく。具体的にわかりやすく簡潔に説明する。注意するときはプラスの言葉で伝え、否定の言葉は使わない
	介護施設における権利擁護推進委員養成研修 研修報告…介護士	〃	外部の目の積極的な活用が、利用者の権利擁護につながっている。職員のストレス対策も重要。
	ストレスのないコミュニケーションで元気な職場を 研修報告…調理主任	〃	快ストレスを持つことで人生に変化を持たせ生きていく活力を生み出してくれる。不快ストレスは出来るだけ少なく、対処方法を自分なりに持つことが大切。
	報徳園新任研修（施設理念・就業規則等） 業務部長	新任職員5名	施無畏に含まれている福祉理念、法人理念。就業規則等報徳園内の業務・規則。
災害時における福祉支援について考える 研修報告…調理副主任	全職種対象	災害福祉支援についての取り組み報告。介護職員の応援派遣をおなう。	
5	報徳園新任研修（感染症） 看護課長	新任職員5名	感染症の理解・予防・対策・発生時の対応。汚物処理の実習。
	〃（身体拘束・事故防止） 相談員主任	〃	身体拘束に該当する事例、利用者の思い。何が事故につながるのか危機管理意識。
	〃（看取り介護・介護技術） 介護主任	新任職員介護課3名	看取り状態とは？報徳園での看取り介護。利用者の状態に合わせた介護技術指導。
	〃（ケアプラン） 介護課長	〃	アセスメント方式の説明、プランの着目点、必要性。
	〃（介護保険制度） 在宅介護支援センター長	新任職員5名	介護保険制度の仕組み、業務とのつながり。
	〃（職員のマナー） 相談員	〃	社会常識、施設職員としての振る舞い。
	〃（認知症介護） デイサービスセンター主任	〃	認知症の原因となる疾患。症状、服薬。関わり方のポイント、寄り添い方。
	高齢者の食べる支援と誤嚥性肺炎対策 研修報告…管理栄養士	全職種対象	高齢者の肺炎の8割が誤嚥性肺炎。離床し正しい姿勢での食事が予防につながる。
高齢者施設の食品衛生管理と食中毒 三重県津保健所 保健衛生室衛生指導課主任 佐々木恵氏	〃	付けない・増やさない・やっつける を予防ポイントとする。水・温度・栄養素の条件が揃うと細菌は倍々に増えていく。速やかに10度C以下、65度Cに保管すること。	
7	介護と医療の連携 研修報告…介護士	〃	生活面のサポートが医療や介護に求められる。お互いが情報共有し連携すること。
	社会福祉施設のブランディング 研修報告…介護主任	〃	質の高いサービスを提供し続けることや職員が生き生きと働く姿がブランドの向上となる
	認知症の基礎的理解と福祉用具の活用 研修報告…介護士	〃	原因疾患により発症と経過、認知障害の特徴、BPSD、身体的機能が異なる。
	楽ワザ介護技術 研修報告…介護リーダー	〃	利用者の残存能力を生かし、利用者・職員双方が無理なく体を動かせる介護技術。
8	福祉用具使って腰痛予防 研修報告…介護リーダー	〃	福祉用具は利用者の体の条件があるのですべての利用者には適さないこともある。腰痛の原因はヘルニアが多いが、原因不明なものはストレスによるものがある。
	介護施設にて褥瘡予防、看取り 研修報告…看護課長	〃	褥瘡は圧とずれによってできる。正しいポジショニング・体位交換によって予防できる。死が近づいていることを日常ケアの中でアセスメントしていく。
	職場のセクハラ・パワハラ防止と働きやすい職場づくり 研修報告…介護課長	〃	近年労災が増加している。ハラスメントは相手がどう思うかの視点の欠如。
9	高齢者の食生活を支援する口腔ケア 研修報告…介護士	〃	義歯を使用していないと体のバランスが悪くなり転倒の危険が高まる。
	口腔ケア実践 雪印ビーンスターク(株) 磯山文香氏	介護・看護	同一講義を 9/6と9/19 に行う。口腔ケアの基本を勉強し、職員が口腔ケア用ジェルを使用して利用者の口腔ケアの体験をする。

月	テーマ・講師・担当	対象職員	内容
11	入浴施設におけるレジオネラ症防止対策 研修報告…介護士	全職種対象	集団感染の危険がある。症状は二種類あり、Pontiac熱(一過性)・レジオネラ肺炎(重篤な状態の危険)ぬめり(アーマー)が原因。日常的に衛生管理を行い、乾燥させる。
	事故防止とその対策 三重県介護福祉士会 会長 太田京子 氏	介護職	事故発生の危険を予知する能力と苦情となるかもしれない状況を察知する能力を高める。事故が起こったら再発防止の出発点は事故の状況を正しく把握すること。
	介護施設事業所における利用者の権利擁護 研修報告…介護リーダー	全職種対象	身体拘束は高齢者虐待にあたる。記録基準が設けられ、これらが揃っていないと減算となる。
12	口腔ケア～介護現場における口腔ケアの目的と重要性 研修報告…介護士	〃	「口は命と病の入り口」と言われている。一日一回丁寧に歯磨きをする時間を作る。
	食中毒・感染症を防ぐ。正しい手洗いとノロウイルス 研修報告…管理栄養士	〃	ノロウイルス食中毒を防げば全食中毒患者を半分に減らすことが出来る。予防には次亜鉛素酸が有効。手洗いの徹底が最も効果あり。持ち込まない・広げない・加熱・つけないが原則
	認知症介護実践者研修 研修報告…介護士	〃	認知症の部分に注目しがちであるが、人の部分を大切にすること。問題行動は本人にとってではなく、介護者にとっての問題行動である。本人の思いの理解に努める。
	ティーチング コーチング 研修報告…調理副主任	〃	傾聴…最後までじっくり聞く。質問…可能性を引き出すために効果的。承認…努力を認める。
H31.1	腰痛予防対策 研修報告…介護士	〃	利用者・職員の健康、安全を守る。福祉用具の活用、作業姿勢・動作の見直し。
	身体拘束廃止への取り組み 研修報告…介護リーダー	〃	拘束の原因を知ることで要因を除去していく。何故拘束するのか。
2	認知症介護実践リーダー研修 研修報告…介護士	〃	認知症利用者の行動に潜んでいる思いに気づく介護士・部下に気づかせるリーダー力。
	身体拘束廃止セミナー 研修報告…介護士	〃	利用者の意志や行動を制限し、自由ではない状態。見えない拘束…スピートロックもある。
	アンガーマネジメント 研修報告…介護リーダー	〃	怒りを客観的にコントロールする心理技術。許せる心の領域を広げる。
3	めがせ 誤嚥性肺炎ゼロ 研修報告…介護主任	〃	原因…加齢により唾液の出る量が減る。認知症が原因で食べる意欲を失う。トロミの濃度。
	感染対策支援ネットワーク 研修報告…介護士	〃	口腔ケアの診察で食べる楽しみを促進する。口臭・口腔の乾燥状態・口の清掃状態。
	地域権利擁護支援 研修報告…介護士	〃	虐待を発見したら客観的な証拠や確信は不要、躊躇せず原則通報する義務がある。

※全職員対象に毎月マナー研修をおこなう。 ※新任職員には25時間以上の園内研修を実施している。(4月～5月)

### [外部研修参加状況]

県内研修	41 件	67 名参加
------	------	--------

## 11. 地域との交流事業

月日	所属機関	目的・内容	人数	担当
4/8	春祭り	桜の開花に合わせ園庭を開放。看板にて近隣の方々に見学を呼び掛ける。春祭りは利用者ご家族との写真撮影や交流を図る。	約200人	レク委員会・全職員
5/5	よもぎ餅つき	園庭にて新緑の中よもぎ餅をつく。茶摘み体験や新茶を味わう。利用者ご家族にもポスターにて参加を呼び掛け、交流を図る。	約150名	三丁目介護士 全職員
6/13	三重県立看護大学	海外短期研修生が利用者とのふれあい日本の高齢者施設を学ぶ(タイ・イギリス)	8名	介護士・相談員
7/14	祇園会	近隣の方々や利用者ご家族にポスターにて参加を呼びかけ、打ち上げ花火を楽しむ。	約200名	一丁目介護士 全職員
7/16 7/22	河辺地区盆踊り練習	地域の方々と職員と盆踊りにて交流を図る。	のべ 約100名	レク委員・全職員
8/5	第38回河辺地区盆踊り大会	盆踊りやイベントを地域の方々と利用者・利用者ご家族・職員と交流し、打ち上げ花火を楽しむ。	約400名	レク委員・全職員
8/8	高田短期大学 介護福祉研究センター	介護福祉に興味のある学生を対象に介護の現場を見て感じて体験していただくバスツアー。昼食体験付	15名	相談員
8/3 9/18・3/22	初盆・彼岸法要	河辺自治会・老人会・遺族・利用者・職員との交流	のべ 200名	全職員
9/7	津市中消防署西分署	夜間避難訓練…出火場所を想定し、屋外へ避難。職員も自宅から駆けつける。近隣の方々にも文章で連絡し、消防署署員、地域消防団の協力にて訓練。	約200名	防火管理者 全職員
9/21	津市立西が丘小学校2年生	町探検の一環として地域にある高齢者施設を見学し、利用者との交流を図る。	125名	相談員・介護士
10/11 11/8	地域交流会 介護教室 テーマ「認知症と思ったら？」	近隣地域の方々にお越しいただき、「認知症」について中瀬医師より講義。健康体操、介護相談を行う。	計43名	いのうえ心身クリニック 院長 中瀬尚幸先生 相談員・医務室 ケアマネ
10/12	津西幼稚園	園児による「よさこい」披露、利用者とのふれあい。	85名	相談員
11/9	津西高等学校1年生	人権総合学習…高齢者の人権について講義 施設見学、利用者との交流。	17名	ケアマネ・相談員
11/22	津市立西が丘小学校2年生	「おもちゃまつり」の招待を受け小学校へ出向く。体育館にて児童とゲーム等でふれあい、楽しむ。	11名	介護士
12/7	報恩講	善休寺世話方、利用者との交流。	約150名	相談員

## 12. 給食関係状況

平成31年3月31日現在

一人あたり平均  
一日給食カロリー(Kcal)

月	カロリー
H30	
4	1,316
5	1,316
6	1,328
7	1,301
8	1,300
9	1,312
10	1,292
11	1,323
12	1,336
H31	
1	1,341
2	1,319
3	1,340
平均	1,319

食品群別一人一日平均(グラム)

食品群	量	食品群	量
穀類	158	緑黄色野菜	76
芋類	35	柑橘類	54
砂糖類	17	その他の果実	
油脂類	5.9	その他の野菜	132
豆類	34	海藻類	4.6
魚介類	76	調味料類	57
獣鳥肉類	88	菓子類	10
卵類	26	嗜好品類	6
乳及び乳製品	107	その他	7

\* 特別行事食～年間約 30回 (誕生会、餅つき等)

食事内容(人)

( )1/2量

主食	ご飯	23
	軟飯	13
	全粥	39
	ミキサー	27(10)
	経管栄養(胃瘻)	4
	流動食	2
副食	ふつう	15
	キザミ	16
	超キザミ	35(1)
	極超キザミ	11
	ミキサー	25(6)
	経管栄養(胃瘻)	4
	流動食	2
水分	トロミ使用	51
中止		0
入院		2

### 13. 法人運営の状況

平成30年5月21日（月）

監事会 出席人数 監事2名、常務理事1名  
内 容 (1) 平成29年度事業状況  
(2) 平成29年度決算

平成30年6月6日（水）

理事会 出席人数 理事6名中6名、監事2名中2名  
議 案 (1) 平成29年度事業報告並びに計算書類等の承認について  
(2) 定時評議員会の開催について

平成30年6月26日（火）

評議員会 出席人数 評議員7名中7名  
常務理事1名、監事2名  
議 案 (1) 平成29年度事業報告について  
(2) 平成29年度計算書類等の承認について

平成30年11月20日（火）

理事会 出席人数 理事6名中5名、監事2名中1名  
議 案 (1) 平成30年度補正予算案について  
(2) 特別養護老人ホーム報徳園園長の交代について  
(3) その他

平成31年3月15日（金）

理事会 出席人数 理事6名中6名、監事2名中2名  
議 案 (1) 平成30年度補正予算案について  
(2) 就業規則、臨時職員等の就業規則、給与規程、運営規程、経理規程  
及び定款細則の変更案について、ハラスメント防止規程の作成について  
(3) デイサービスセンター報徳園管理者の交代について  
(4) 平成31年度事業計画案について  
(5) 平成31年度予算案について  
(6) その他



[平成31年4月1日現在]

### 法人役員構成

	人数	備 考
理 事	6名	内 理事長1名、常務理事1名
監 事	2名	
評議員	7名	

### 職員構成

事業所・職種	人数	備 考
特養・短期入所・認知症対応型通所介護事業所		
園 長	1名	
事務員	5名	
相談員	5名	内、介護支援専門員兼務2名
介護職員	61名	内、介護福祉士取得者43名 内、喀痰吸引等登録者24名
看護職員	11名	内、機能訓練指導員兼務9名
管理栄養士	2名	
調理員	8名	
嘱託医師	2名	内、精神科1名
その他	1名	送迎運転手
居宅介護支援事業所		
介護支援専門員	3名	
合 計	99名	

\* 兼務の場合は主たる事業所・職種にて計上

### 平成30年度職員採用・退職状況

採用・退職	正規職員	非正規職員	合 計
採用職員	5	6	11
退職職員	5	9	14

\* 退職者平均勤続年数12年9か月

### 平成30年度有休休暇取得状況

平均取得日数	6.0日
取 得 率	39.8%

### 雇用形態・男女別職員分布

雇用形態	男	女	合 計
正規職員	19	52	71
(内、介護・看護職員)	(13)	(36)	(49)
非正規・嘱託職員	11	17	28
(内、介護・看護職員)	(7)	(16)	(23)
合 計	30	69	99

### 勤続年数別職員分布

勤続年数	正規職員	非常勤職員	合 計
3年未満	18	7	25
3年以上5年未満	9	4	13
5年以上10年未満	5	4	9
10年以上15年未満	15	6	21
15年以上20年未満	11	3	14
20年以上25年未満	3	1	4
25年以上30年未満	9	1	10
30年以上	1	2	3
合 計	71	28	99

\* 正規職員平均勤続年数 11年6か月

### 年齢別職員分布

勤続年数	正規職員	非常勤職員	合 計
10・20歳代	13	1	14
30歳代	6	6	12
40歳代	23	3	26
50歳代	28	3	31
60歳代以上	1	15	16
合 計	71	28	99

\* 正規職員平均年齢 44歳10か月

※上記職員分布には、育児休業及び療養休暇中の職員を含む



# 平成30年度 決算状況

## 法人単位 資金収支計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

法人名：社会福祉法人高田真善会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	612,400,000	614,555,747	△ 2,155,747	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	4,000,000	3,971,390	28,610	
	受取利息配当金収入	20,000	16,636	3,364	
	その他の収入	17,380,000	17,714,360	△ 334,360	
	流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
	事業活動収入計(1)	633,800,000	636,258,133	△ 2,458,133	
	支出				
	人件費支出	465,980,000	464,780,155	1,199,845	
事業費支出	102,690,000	99,082,057	3,607,943		
事務費支出	35,610,000	33,580,959	2,029,041		
利用者負担軽減額	30,000	0	30,000		
支払利息支出	0	0	0		
その他の支出	5,550,000	5,587,480	△ 37,480		
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0		
事業活動支出計(2)	609,860,000	603,030,651	6,829,349		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,940,000	33,227,482	△ 9,287,482		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
	固定資産取得支出	2,130,000	1,565,784	564,216	
固定資産除去・廃棄支出	0	0	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
その他の施設整備等による支出	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	2,130,000	1,565,784	564,216		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,130,000	△ 1,565,784	△ 564,216		
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	
	投資有価証券売却収入	0	0	0	
	積立資産取崩収入	6,850,000	6,862,110	△ 12,110	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	6,850,000	6,862,110	△ 12,110	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0		
投資有価証券取得支出	0	0	0		
積立資産支出	3,930,000	3,914,317	15,683		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	3,930,000	3,914,317	15,683		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,920,000	2,947,793	△ 27,793		
予備費支出(10)	0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	24,730,000	34,609,491	△ 9,879,491		
前期末支払資金残高(12)	291,134,893	291,134,893	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	315,864,893	325,744,384	△ 9,879,491		

## 法人単位 事業活動計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

法人名：社会福祉法人高田真善会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	614,555,747	612,885,974	1,669,773
	経常経費寄附金収益	3,971,390	5,486,340	△ 1,514,950
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	618,527,137	618,372,314	154,823
	費用			
	人件費	459,481,793	469,044,304	△ 9,562,511
	事業費	99,542,833	103,372,777	△ 3,829,944
	事務費	33,580,959	31,774,506	1,806,453
	利用者負担軽減額	0	0	0
減価償却費	28,065,880	28,362,612	△ 296,732	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,308,759	△ 8,260,063	△ 48,696	
徴収不能額額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
その他の費用	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	612,362,706	624,294,136	△ 11,931,430	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	6,164,431	△ 5,921,822	12,086,253	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	16,636	14,666	1,970
	その他のサービス活動外収益	17,714,360	9,699,494	8,014,866
	サービス活動外収益計(4)	17,730,996	9,714,160	8,016,836
費用				
支払利息	0	0	0	
その他のサービス活動外費用	5,587,480	5,792,410	△ 204,930	
サービス活動外費用計(5)	5,587,480	5,792,410	△ 204,930	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	12,143,516	3,921,750	8,221,766	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	18,307,947	△ 2,000,072	20,308,019	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄付金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	852,930	0	852,930
	特別収益計(8)	852,930	0	852,930
	費用			
	基本金繰入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0	
固定資産売却損・処分損	2	1	1	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除去等)	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
その他の特別損失	344,930	0	344,930	
特別費用計(9)	344,932	1	344,931	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	507,998	△ 1	507,999	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	18,815,945	△ 2,000,073	20,816,018	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	82,605,561	84,605,634	△ 2,000,073
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	101,421,506	82,605,561	18,815,945
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	101,421,506	82,605,561	18,815,945	

## 法人単位 貸借対照表

平成31年3月31日現在

法人名：社会福祉法人高田真善会

(単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
<b>流動資産</b>	353,332,792	318,095,805	35,236,987	<b>流動負債</b>	49,221,177	50,944,250	△ 1,723,073
現金預金	263,367,233	228,989,557	34,377,676	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	事業未払金	21,559,617	20,916,030	643,587
事業未収金	89,504,783	88,645,472	859,311	その他の未払金	0	0	0
未収金	0	0	0	支払手形	0	0	0
未収補助金	0	0	0	役員等短期借入金	0	0	0
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
立替金	0	0	0	1年以内返済予定役員等長期借入金	0	0	0
前払金	0	0	0	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
前払費用	460,776	460,776	0	未払い費用	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	預り金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	職員預り金	5,568,015	5,584,106	△ 16,091
仮払金	0	0	0	前受金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	前受収益	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0	仮受金	0	0	0
				賞与引当金	22,093,545	24,444,114	△ 2,350,569
				その他の流動負債	0	0	0
<b>固定資産</b>	601,313,328	630,618,293	△ 29,304,965	<b>固定負債</b>	44,100,919	47,297,940	△ 3,197,021
<b>基本財産</b>	446,691,896	467,187,054	△ 20,495,158	設備資金借入金	0	0	0
土地	196,588,016	196,588,016	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物	250,103,880	270,599,038	△ 20,495,158	リース債務	0	0	0
定期預金	0	0	0	役員等長期貸付金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	退職給与引当金	44,100,919	47,297,940	△ 3,197,021
<b>その他の固定資産</b>	154,621,432	163,431,239	△ 8,809,807	長期未払金	0	0	0
土地	74,745,000	74,745,000	0	長期預り金	0	0	0
建物	20,938,067	23,800,648	△ 2,862,581	その他の固定負債	0	0	0
構築物	5,813,574	6,152,912	△ 339,338	<b>負債の部合計</b>	93,322,096	98,242,190	△ 4,920,094
機械及び装置	0	0	0	<b>純資産の部</b>			
車両運搬具	553,101	1,106,204	△ 553,103	<b>基本金</b>	680,558,876	680,558,876	0
器具及び備品	7,549,219	8,946,207	△ 1,396,988	<b>国庫補助金等特別積立金</b>	79,343,642	87,307,471	△ 7,963,829
建設仮勘定	0	0	0	<b>次期繰越活動収支差額</b>	101,421,506	82,605,561	18,815,945
有形リース資産	0	0	0	(当期繰越活動収支差額)	18,815,945	△ 2,000,073	20,816,018
権利	0	0	0				
ソフトウェア	0	0	0				
無形リース資産	0	0	0				
投資有価証券	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	44,100,919	47,297,940	△ 3,197,021				
長期預り金積立資産	0	0	0				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	921,552	1,382,328	△ 460,776				
その他の固定資産	0	0	0				
				<b>純資産の部合計</b>	861,324,024	850,471,908	10,852,116
<b>資産の部合計</b>	954,646,120	948,714,098	5,932,022	<b>負債及び純資産の部合計</b>	954,646,120	948,714,098	5,932,022

## 計算書類に対する注記（法人全体用）

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品 — 定額法

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金 — 当法人で採用している三重県社会福祉事業職員共済会の退職共済制度に基づき、当期末においての三重県社会福祉事業職員共済会への法人負担の掛金累計額を計上している。
- ・賞与引当金 — 法人と職員の雇用契約関係に基づき、翌期に支給する職員の賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込み額を引当金として計上する。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の実施する退職制度(平成18年3月31日以前の採用職員)又は独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業共済事業本部の実施する退職制度(平成18年4月1日以降の採用職員)及び三重県社会福祉事業職員共済会の実施する退職共済制に基づく退職給付金による。

### 5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)  
当法人では、社会福祉事業のみのため作成していない
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)  
当法人では、拠点区分が1つのため作成していない。
- (4) 公益事業、収益事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)  
当法人では、公益事業、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容  
特別養護老人ホーム報徳園拠点区分（社会福祉事業）  
「特別養護老人ホーム報徳園(介護老人福祉施設)」  
「特別養護老人ホーム報徳園(短期入所生活介護)」  
「デイサービスセンター報徳園(認知症対応型通所介護)」  
「在宅介護支援センター報徳園(居宅介護支援)」  
「在宅介護支援センター報徳園(在宅介護支援)」  
「本部」

### 6. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	196,588,016	0	0	196,588,016
建物	270,599,038	0	20,495,158	250,103,880
合計	467,187,054	0	20,495,158	446,691,896

**7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し**

該当なし

**8. 担保に供している資産**

該当なし

**9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高**

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,355,761,760	1,105,657,880	250,103,880
建物	106,111,721	85,173,654	20,938,067
構築物	12,284,160	6,470,586	5,813,574
車輛運搬具	2,212,410	1,659,309	553,101
器具及び備品	163,608,267	156,059,048	7,549,219
合計	1,639,978,318	1,355,020,477	284,957,841

**10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高**

該当なし

**11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益**

該当なし

**12. 関連当事者との取引の内容**

該当なし

**13. 重要な偶発債務**

該当なし

**14. 重要な後発事象**

該当なし

**15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項**

(1) 1年基準と支払資金との関係について

2年を超える長期火災保険料の支払いについては「長期前払費用」にて計上しております。翌期の保険料については流動資産の「前払費用」に計上してあります。資金収支計算書の支払資金と貸借対照表との整合性が確認できません。

1年基準により固定資産の長期前払費用から振り替えられた流動資産の前払費についての金額460,776円について差異があります。

(2) 国庫補助金等特別積立金について

平成29年度「移乗用リフト2台」の購入に際し、三重労働局からの助成金を国庫補助金等特別積立金に計上していなかったため、30年度にて計上する。

相手方勘定科目「その他の特別損失」344,930円

(3) 固定資産（その他固定資産・建物）について

平成29年度「厨房トイレ増設工事」について、その費用を修繕費で処理したが、30年度にて固定資産（建物）にて処理する。

相手方勘定科目「その他の特別収益」852,930円



# 監査報告書

令和元年5月29日

社会福祉法人高田真善会

理事長 常磐井 猷磨 殿

監事

永合達也

監事

稲垣武彦

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

# 社会福祉法人高田真善会 報徳園 事業概要

平成31年4月1日現在

事業所名	特別養護老人ホーム報徳園		デイサービスセンター報徳園	在宅介護支援センター報徳園	
区分	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	通所介護 (認知症対応型)	居宅介護支援	在宅介護支援
介護保険事業所番号	2470500485	2470500634	2470500634	2470500253	—
介護保険指定年月日 (当初指定年月日)	平成26年4月1日 (平成12年4月1日)	平成26年4月1日 (平成12年1月31日)	平成26年4月1日 (平成12年1月31日)	平成26年4月1日 (平成11年8月31日)	
開設年月日	昭和56年4月1日	平成2年5月1日	平成4年4月1日	平成11年10月1日	平成5年5月1日
利用定員	110人	15人	24人(月～金曜日) 12人(土・日曜日、年末年始)	—	—
サービス提供日 及び提供時間	年中無休	年中無休	年中無休 9:00～16:30	年中無休 8:00～17:30	年中無休

# 施設概要

平成31年4月1日現在

敷地面積 17,789.44m<sup>2</sup>  
 本館建物 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 4,909.74m<sup>2</sup> 2階 63.75m<sup>2</sup>  
 入居者居室 個室…24室 2人室…7室 3人室…1室 4人室…21室

